

目次

1	はじめに	2
1.1	アドインの機能	2
1.2	このアドインで解決できること	2
2	機能の説明	3
2.1	概要	3
2.2	機能制限	3
2.3	実行によるオプション設定の変更	3
2.4	チェック結果の例	4
2.5	「全文表示」の場合	4
2.6	「指摘のみ表示」の場合	4
2.7	結果の保存場所の選択	5
2.8	文書のスタイルの選択	5
3	アドインの設定	6
3.1	手順 1:アドインファイルのブロックを解除	6
3.2	手順 2:アドインをアドインフォルダへコピー	6
3.3	手順 3:アドインの指定(Excel2010 の場合)	6
3.4	その他:アドインの設定解除	6
4	動作環境	7
5	使用条件	7
6	免責	7
7	連絡先	7
8	履歴	8

1 はじめに

2016/7に更新された WindowsUpdate によりアドインファイルのブロックを解除しないと使用できなくなりました。このため、ファイルのプロパティにてブロックを解除してご使用ください。リンク→[設定方法はコチラをご覧ください](#)

1.1 アドインの機能

このツールは、Microsoft Excel 用のアドインです。本アドインには下記の機能があります。

- スペルと文章のチェック機能

- Microsoft Word の「スペルチェックと文章校正」の機能を使用して Excel ブック全体のスペルと文章のチェックを行い、チェック結果の一覧を Word ファイルでデスクトップに保存します。結果の表示には「全文表示」と「指摘のみ表示」の 2 種類を用意しています。実行範囲は「ブック全体」と「1シート」の 2 種類を用意しています。

アドインを設定すると、ショートカットメニューに「スペルと文章のチェック」が追加されます。「スペルと文章のチェック」を左クリックで選択することで各機能を実行できます。

(なお、「SPEGRA Checker」の SPEGRA(スペグラ)は、Spell And Grammar を略した造語です)

1.2 このアドインで解決できること

Excel の文章チェック機能がスペルチェックのみである問題

Excel は日本語の文章チェックがなく、かつ図形内の文章をチェックしてくれません。

→この問題は、「スペルと文章のチェック機能」で解決できます。

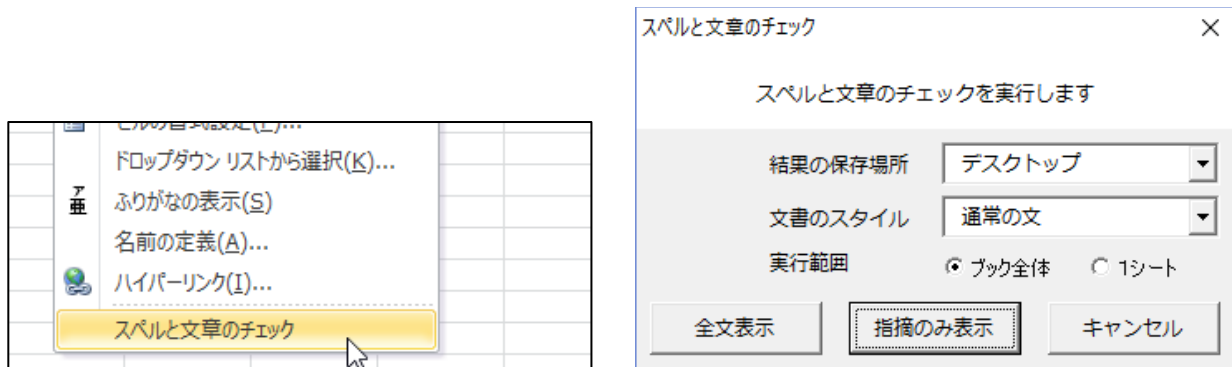
Microsoft Word(以後、Word と表現します)の「スペルチェックと文章校正」の機能を使うため、Word と同等の確認ができます。ただし、修正実行までは今のところサポートしていません。また、表記のゆれは、チェック結果を全文表示で行い、Word 標準校閲機能の「表記のゆれチェック」を使用して確認してください。

2 機能の説明

2.1 概要

スペルと文章のチェック機能は、ショートカットメニューの 2「スペルと文章のチェック」を左クリックすることで実行できます。Excel から Word の「スペルチェックと文章校正」機能呼び出し、チェック結果を Word ファイルで表示します。選択している Excel ファイルのブック全体に対して、スペルと文章のチェックを行い、Word ファイルにてチェック結果の一覧表を表示します。結果の表示には「全文表示」と「指摘のみ表示」の 2 種類を用意しています。実行範囲は「ブック全体」と「1シート」の 2 種類を用意しています。

また、結果の保存場所の選択、および文書のスタイルの選択ができます。



2.2 機能制限

「スペルと文章のチェック」機能には現段階では、下記の 2 点の機能制限があります。

※表記のゆれチェックはできません

Excel から Word の「スペルチェックと文章校正」機能呼び出ししているため、Word と同等のスペルチェックと文章校正の指摘が行われます。ただし、「表記のゆれチェック」は実行されません。もし「表記のゆれチェック」も行いたい場合は、「全文表示」で出力された一覧表に対して、Word の標準機能である「表記のゆれチェック」を行って確認してください。

※日本語文章の指摘は 一文(句点(マル)で区切られた文)に1つのみです

日本語文章の指摘は、一文に複数ある場合にも1つ目の指摘しか行いません。ただし、指摘のある文は必ずチェック結果に出力されるため、その文に対するその他の指摘内容は Word の文章校正機能を使用し、確認してください。なお、スペルチェックに関しては漏れなく指摘します。

2.3 実行によるオプション設定の変更

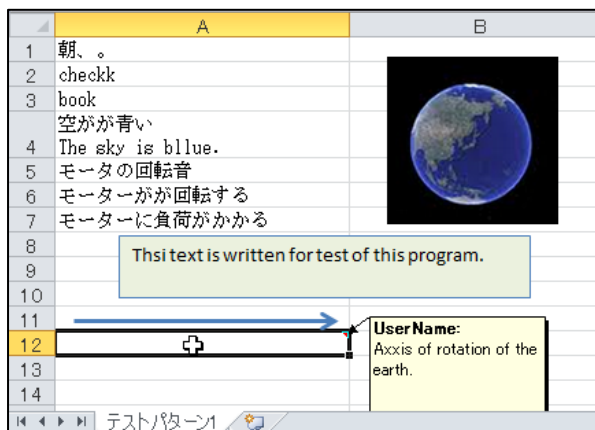
チェック結果の Word ファイルを開いた時に指摘箇所が見えるようにするために、「スペルと文章のチェック」機能を実行した際に下記 2 点の Word の文章校正のオプション設定を変更します。

※「入力時にスペルチェックを行う」を ON に設定します。

※「文書のスタイル」を本アドインで指定した文書スタイルに設定します。

2.4 チェック結果の例

下記の Excel ファイルの記載に対して「スペルと文書のチェック」を実行した結果を示します。



2.5 「全文表示」の場合

スペルチェックや文章の指摘がある箇所は白塗り、何も指摘がない箇所は灰色になります。

「位置」列はハイパーリンクになっていて、Ctrl ボタンを押しながら左クリックするとファイルの記載されている場所へ飛ぶことができます。

表記のゆれチェックはサポートしていません。このため、灰色の部分であっても Word の標準のチェック機能によって「モータ、モーター」の部分に緑の波線が出ています。

なお、コメントのユーザー名はチェック対象に含めていません。

スペルと文章のチェック結果 (対象ファイル: テストパターン.xlsx) .doc			
位置	タイプ	原文	指摘
テストパターン 1!A1	セル	朝、。	句読点の連続、
テストパターン 1!A2	セル	checkk	スペルミス? check
テストパターン 1!A3	セル	book	
テストパターン 1!A4	セル	空がが青い The sky is bllue.	入力ミス? 空が青い スペルミス? blue
テストパターン 1!A5	セル	モータの回転音	
テストパターン 1!A6	セル	モーターがが回転する	入力ミス? モーターが回 転
テストパターン 1!A7	セル	モーターに負荷がかかる	
テストパターン 1!A8	図形	Thsi text is written for test of this program.	スペルミス? This
テストパターン 1!A12	コメント	UserName: Aaxis of rotation of the earth.	スペルミス? Axis

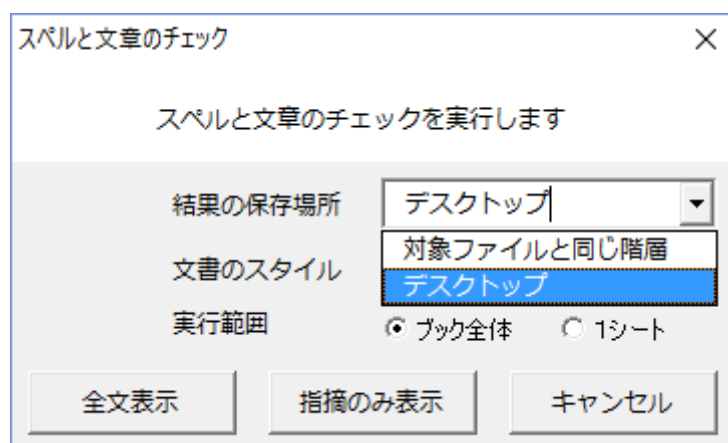
2.6 「指摘のみ表示」の場合

スペルチェックや文章の指摘がある箇所のみを抽出して表示します。

スペルと文章のチェック結果 (対象ファイル: テストパターン.xlsx) .doc			
位置	タイプ	原文	指摘
テストパターン 1!A1	セル	朝、。	句読点の連続、
テストパターン 1!A2	セル	checkk	スペルミス? check
テストパターン 1!A4	セル	空がが青い The sky is bllue.	入力ミス? 空が青い スペルミス? blue
テストパターン 1!A6	セル	モーターがが回転する	入力ミス? モーターが回 転
テストパターン 1!A8	図形	Thsi text is written for test of this program.	スペルミス? This
テストパターン 1!A12	コメント	UserName: Aaxis of rotation of the earth.	スペルミス? Axis

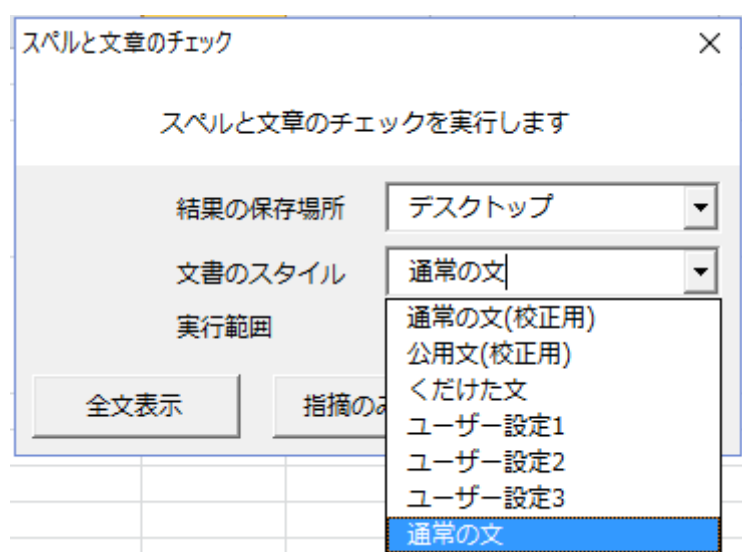
2.7 結果の保存場所の選択

チェック結果のファイルを保存する場所として「デスクトップ」、「対象ファイルと同じ階層」を選択できます。



2.8 文書のスタイルの選択

Word では文書校正オプションにて「文書のスタイル」を選択することでのレベルを調整することができます。本アドインでも、文書校正オプションにて「文書のスタイル」を選択することができ、設定されたスタイルに合わせて文章のチェックを行います。各文書スタイルの詳細設定は、Word の文書校正オプションにて設定してください。



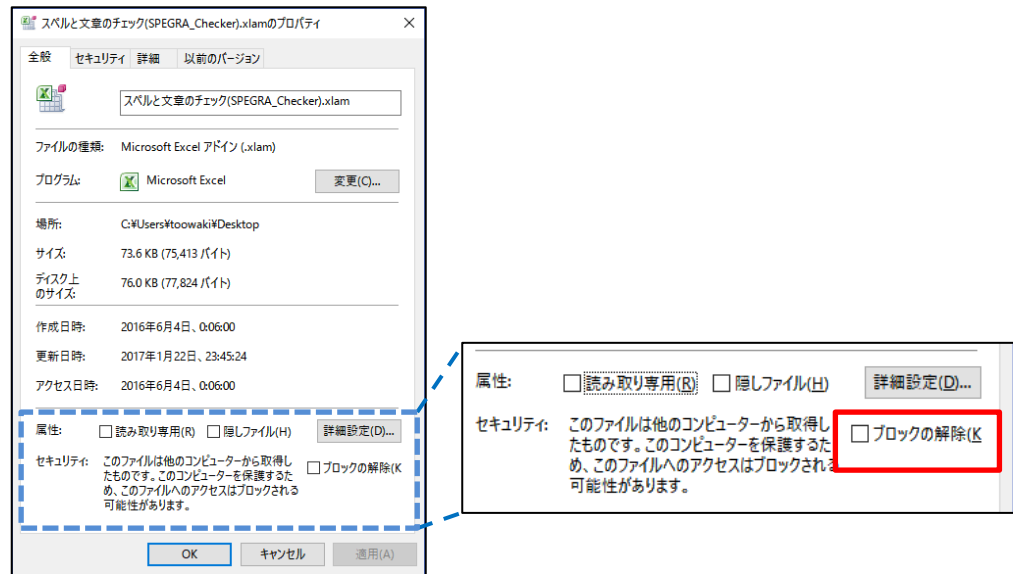
3 アドインの設定

アドインの設定方法は、google 等の検索サイトで「Excel アドインの使い方」などと検索していただくと丁寧な説明が記載されたサイトが出てくるため、そちらを読んでから手順1へ進むとスムーズに設定できると思います。

3.1 手順 1:アドインファイルのブロックを解除

※2016 年 7 月頃の Windows Update によりインターネットから取得した Excel アドインはブロック解除しないと使えないようになっていました。このため、Excel アドイン(スペルと文章のチェック(SPEGRA_Checker).xlam)のプロパティ画面を開いてブロック解除を行ってください。これにより使用できるようになります。

(ファイルを右クリックして、プロパティを選択すると下記プロパティ画面になります。)



3.2 手順 2:アドインをアドインフォルダへコピー

C:\Users\【ユーザー名】\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns (【ユーザー名】はユーザーによって異なります) にエクセルのアドインを保存する場所があるため、そこに本アドイン(スペルと文章のチェック(SPEGRA_Checker).xlam)を保存してください。なお、Excel97～2003の方は「Excel97～2003用(xlaファイル)」フォルダの中に、Excel97～2003用のアドインを用意しておりますのでそちらをご使用ください。アドイン設定時に上記フォルダを開くため、その時に本アドインを保存すると簡単に保存することができます。

※Excel2013ではAddInsフォルダに保存しないと動作しないようでした。このため、アドインは、上記のAddInsフォルダに保存してください。またアドインは実行時に毎回読み出すため設定後もアドインファイルは同じ場所に保管してください。

3.3 手順 3:アドインの指定(Excel2010の場合)

- (1)Excel画面にて[ファイル]ツールバー → オプションを押し、Excelのオプションダイアログを開きます。
 - (2)[Excelのオプション]ダイアログボックスの左ペインで、[アドイン]をクリックします。
 - (3)ダイアログボックス下の[管理]リストボックスが「Excel アドイン」になっているのを確認して、[設定]ボタンをクリックします。
 - (4)実行すると[アドイン]ダイアログボックスが表示されます。
 - (5)[参照]ボタンをクリックします。実行すると[ファイルの参照]ダイアログボックスが表示されます。
 - (3)先ほど手順1で保存したアドインを指定してください。これで設定完了です。
- アドインはExcel起動時に読み出すようになっているため、Excelを再起動してください。

3.4 その他:アドインの設定解除

- (1)[アドイン]ダイアログボックスで『スペルと文章のチェック(SPEGRA_Checker)』のチェックボックスをオフにします。
 - (2)アドインの実体(スペルと文章のチェック(SPEGRA_Checker).xlam)が保存されているフォルダを開き、アドインの実体(xlamファイル)を別のフォルダに移動、または削除します。
 - (3)アドインの実体(xlamファイル)が存在しなくなった状態で[アドイン]ダイアログボックスを開き、登録を解除したいアドインをクリックします。
- 実行すると「アドインが見つかりません。リストから削除しますか?」という確認が表示されます。

ここで[はい]ボタンをクリックすると、アドインの登録が解除されて[アドイン]ダイアログボックスのリストから消去されます。

4 動作環境

・Excel97～2003, Excel2010, Excel2013(32bit 版、64bit 版)

Windows10 での動作を確認しました

5 使用条件

このプログラムはフリーウェアです。著作権は、toowaki が持ちます。

転載は自由に行ってください。また、当ソフト添付のアドインの改ざん・変更等を行わないようお願いします。

6 免責

このプログラムを使用して生じた損害等につきましては、作者はいっさい関与しません。

使用者の責任で、本プログラムを使用してください。

7 連絡先

何かご要望等ございましたら、toowaki.fc2@gmail.com までメールお願いします。

8 履歴

日付	内容	Ver.	編集者
2015/03/11	新規作成 (NeconoteToolBox アドインから「スペルと文章のチェック」のみ抜き出した)	1.0	toowaki
2015/04/02	・64bit 版の Excel に対応。64bit 版の Excel に対応するためにプログレスバーを自作のものにかえた。 ・非表示シートがある場合、非表示シートに対してもチェックするかを聞くようにした ・外部ドライブにあるファイルに対しても実行できるようにした ・ボタンの最初のフォーカスを「指摘のみ表示」になるようにした ・結果の保存場所を選択できるようにした	1.1	
2015/4/26	・文書校正オプションの文書スタイルを選択できるようにした。	1.2	
2015/05/04	・非表示シートがあった際の動作を修正		
2016/06/03	・実行範囲を「ブック全体」と「1シート」の2種類を選択できるようにした	1.3	
2017/1/22	WindowsUpdate によりアドインが起動しなくなる原因とその解決方法を記載 → 詳細はこちら		